

グローバル化下での社会システムの変容と再構築 (コアプロジェクト2)

情報通信技術の革新から始まったグローバル化は、21世紀に入り、経済活動の世界的連結を超えて、社会活動のあらゆる分野に影響をあたえてきている。先進国、新興国、途上国などの各国は、グローバル化下での状況の変化の下で、それぞれがもつ固有の問題への対応に迫られている。それぞれの国の状況の中で、グローバル化に対応する社会システムの変容を検討するのが、このプロジェクトの目標である。新興国については、インド農業における緑の革命と電力の関係に焦点をあてた研究を、先進国内における成長産業としての医療と社会保障制度の変化について、人口減少社会における都市と地域をめぐる社会システムの転換について検討を行った。また、グローバル化と国際的制度改革については、EU 通貨統合の評価について検討を進めた。

EU通貨統合とグローバル化

川野辺 裕幸

インド電力部門改革に関する研究

福味 敦

グローバル化下での社会システムの変容と再構築

—— 医療の産業化と社会保障の関係性に着目して ——

堀 真奈美